



## 「ねりまがもっと好きになる！」写真展を区民とデザイナーが協働企画 ねりまの風景展—ソラとまちがある暮らし—の開催

事前のお知らせ

と き 2月27日(木)～3月2日(日) 午前10時～午後6時

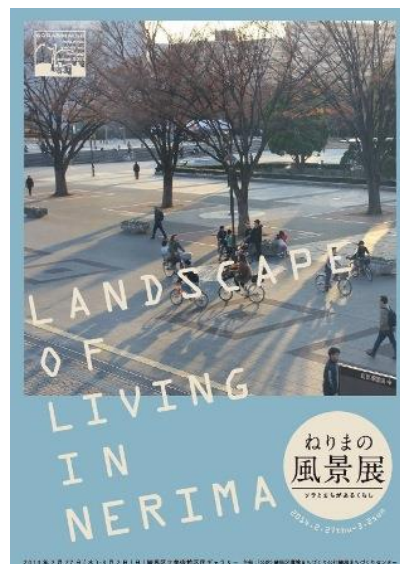
と ころ 練馬区立美術館区民ギャラリー (貫井1-36-19)

2月27日(木)から3月2日(日)の4日間、写真展「ねりまの風景展—ソラとまちがある暮らし—」を開催する。練馬区民が練馬の風景を映した写真、約80点が展示される。平成24年の開催から、今回で3回目。今年のテーマは、「ねりまに暮らす」。

会場では、区内に暮らす中でふと出会える、美しい風景やあたたかな風景を1日の時間の流れとともに紹介。また、第一回から今回までの作品の一部を、観光ポスター風にデザインした作品も展示し、見慣れているようで新しいねりまの魅力を発信する。

主催は、練馬区環境まちづくり公社 練馬まちづくりセンター。企画は区内で活動しているグラフィックデザイナーの田崎はじめ氏と千葉泉氏、有志の区民と、まちづくりセンターで構成する「ソラまち実行委員会」。住宅街・ねりまの風景を見つめ直すことから、「ねりま」へのわがまち意識、愛着を高めてもらおうと、協働で企画を進めてきた。

主催者は、「作品を通じて、ねりまに住みたい、住み続けたいと感じてもらえたらうれしい」と話している。入場無料。



ねりまの風景展ポスター

### 【撮り歩きワークショップ「ソラとまち」とねりまの風景展】

練馬まちづくりセンターでは、区民向けの景観まちづくりの普及啓発講座として、デジタルカメラでまちを撮り歩くワークショップ「ソラとまち」を平成23年度から実施している。今年度は、南田中、北町、光が丘公園で開催した。「カメラを通して見慣れたまちの風景を眺めると、そのまちの個性が見えてくる」と、リピーターが多い人気講座となっている。

この講座で区民が撮影した写真を「ねりまの風景展」で紹介する。年間3回のワークショップで集まった約8,000点の風景写真から、より「ねりまらしさ」が映し出された写真を厳選して約80点を展示する。昨年度の風景展では3日間の開催で400人を超える入場者があった。

ワークショップ、風景展のコンセプトから写真の選択、展示手法などの企画・運営は、区民とグラフィックデザイナーの田崎はじめ氏、千葉泉氏、練馬まちづくりセンターでつくる「ソラまち実行委員会」が担っており、ねりまの風景展は、まさに「区民から区民へ練馬の魅力伝える」写真展である。

### 【同時開催イベント】

＜トークセッション—ねりまに暮らす—＞

- まちの視点 - 3月1日(土) 16:30～17:30

- 暮らしの視点 - 3月2日(日) 14:00～15:00

＜ミニ撮り歩きワークショップ＞

美術館周辺の風景を撮り歩く1時間程度のワークショップ

2/28、3/1、3/2の午前、午後実施 各回先着5名

### 【公益財団法人練馬区環境まちづくり公社 練馬まちづくりセンター】

公益財団法人練馬区環境まちづくり公社は、平成23年5月、練馬区と連携・協力して『良好な景観の形成』に取り組むため、景観法の規定に基づく「景観整備機構」の指定を練馬区から受けた。練馬まちづくりセンターは、公社の一部門として景観整備機構の運営を担い、住民の主体的な景観まちづくりを支援している。

### 【問い合わせ】

練馬まちづくりセンター 電話 03-3993-5451

○ねりまの風景展 - ホームページ [http://nerimachi.jp/eventinfo/fukeiten\\_140227.php](http://nerimachi.jp/eventinfo/fukeiten_140227.php)